

20歳になったら...

話題

いろいろ



1月7日に行われた成人式前夜祭では新成人が実行委員となりイベントなどを企画し、会場を大いに盛り上げました。

1月8日に行われた成人式では76人の新成人が参加し、来賓からの祝辞や励ましを受け、大人への一步を踏み出しました。



大人の第一歩を踏んだので大人らしい行動をしていきたい。

矢島 聖人さん



自分を磨き日々精進していきたい。

上田 恭兵さん



責任をもった行動をしていきたい。

田中 優加さん



これからは自分のことを自分でやっていきたい。

橋本 美里さん



学校の先生を目指して勉強に励みたい。

和田山桂史さん



20歳らしく振る舞いたい。

村山 一磨さん



大人の女性になれるよう頑張りたい。

和田 真衣さん



自分の道を見つけていきたい。

菅野麻祐子さん



新成人からの一言



12/14

緑化活動啓発作品コンクール（作文の部）で受賞

北海道森と緑の会主催の緑化啓発作品コンクール作文の部で中茶安別小中学校の田村風馬君（小6）が最優秀賞、中島千穂さん（中2）が奨励賞を受賞され、その伝達式が同校で行われました。

標茶町緑化推進委員会の山澤嘉禮会長から表彰状の伝達を受けた田村君は「うれしかった。これからも環境を守っていききたい」。中島さんは「これからも森づくりに興味を示し、山や緑を大切にしていきたい」とそれぞれ受賞の喜びを語りました。



12/19

本場の中国家庭料理を学びました

中国黒龍江省^{モンジャカン}孟家崗鎮中心小学校の児童の作品を届ける目的で本町を訪問され、北海道国際交流員で黒龍江省出身の黄巧亮^{コウリョウ}さんを講師に、本場の中国家庭料理講習会が開発センターで開催されました。料理は同省ハルビンの家庭料理など、中国各地の料理全4種類のメニューが作られました。

参加された方は「1日で中国各地の家庭料理を覚えて味わうことができよかった。」との声がありました。



12/20

中国黒龍江省の小学生との交流

本町と中国黒龍江省孟家崗鎮は旧満州の開拓を縁として1993年より訪問交流や児童絵画の交換交流を行ってきました。

北海道と黒龍江省の友好提携25周年を記念して標茶小学校と孟家崗鎮中心小学校との絵画作品の交換を行いました。標茶小学校の児童の絵画作品は昨秋に道内訪問団が同省を訪問したときに孟家崗鎮中心小学校に贈られています。

今回は、北海道国際交流員で同省出身の黄巧亮さんが、孟家崗鎮中心小学校の児童の作品を持って標茶小学校を訪問し、児童会長の村山寛香さんと副会長の三本祐輔君に手渡しました。その後、黄さんが中国の小学校やハルビンの街並みなどの写真を用いて、中国の文化や言語などを6年生50人に紹介し、最後には中国語で数字を順番に数えていくゲームで交流しました。孟家崗鎮中心小学校から贈られた作品は開発センターで一般公開されました。

12/16

日本赤十字社献血功労団体表彰

10年以上にわたり献血に協力されている標茶町農業協同組合が、日本赤十字社の献血功労団体表彰として北海道支部長感謝状が贈られ、その伝達式が役場で行われました。感謝状を受け取った藤川参事は「事務所前の駐車場で献血を行っているので、職員や農家の方が自主的に献血している。これからも末永く続けていきたい」と話されました。



写真
左 川口瑛紀君
右 山澤清楓さん
上 松本健太君
下 只野奈七瀬さん



12/19

全道中学スケート大会での健闘を誓う

第42回全道中学スケート・アイスホッケー大会のスピードスケート競技に出場する標茶町中学校スケート少年団の選手4人が、その報告に役場を訪れました。

500mと1500mに出場の標茶中3年の只野奈七瀬さんは「1500mには初めて出場するので、24位以内に入り自分の力を発揮したい」。500mと1000mに出場の磯分内中3年の山澤清楓さんは「全道大会では以前くやしい思いをした。24位以内に入り全国大会に出場したい」。500mと1000mに出場の塘路中3年の川口瑛紀君は「自分の持てる力を発揮し、24位以内に入りたい」。500mと1000mに出場の標茶中2年の松本健太君は「Aバッチを取れるように頑張りたい」と1月7日に釧路市で行われる大会への意気込みを語りました。

ありがとうございます

1/17



標茶町プルタブ回収運動により集まったプルタブで交換した車いすが、特別養護老人ホームやすらぎ園に寄贈されました。同運動は今年で19年目。各町内会や小中学校もこの運動に賛同して回収に取り組んでいます。なお、この運動で寄贈された車いすは12台目となりました。



12/20

雪印メグミルク(株)磯分内工場が、すみれ保育園(磯分内)の園児にクリスマスケーキを寄贈してくださいました。サンタの衣装を着た望月工場長は「みんないい子にしているからケーキを届けました」と話し、園児は「おいしそう。早く食べたい」と一足早いクリスマスケーキのプレゼントを喜んでいました。



1/5

標茶消防出初式が行われました

平成24年標茶消防出初式が行われました。駅前通商店街にて総勢122人、車両14台による勇壮な分列行進、熊牛まとい組によるまとい振り、はしご乗りの華麗な演技が披露され観客を魅了しました。



12/20

災害時に備えて協定を結びました

本町と北海道電気保安協会(大内全理事長)は、自然災害や重大事故発生時の電気設備の復旧に対応するため、災害時協力協定を締結しました。大内理事長は「東日本大震災のこともあり、地震に対する備えをしなければならない一年。万が一の地震の発生には公共設備の電気の確保を図り、復興に寄与したい。災害が起きても標茶の人が支障なく生活ができるようにしていきたい」と話されました。



1/11

交通事故死ゼロ1500日を達成

標茶町交通安全運動推進協議会は、1月10日で交通事故死ゼロ1500日を達成した節目に交通安全祈念大会を開催しました。池田町長は「交通事故死ゼロを1500日達成できたのは地域のみなさんや町内会、各団体のおかげ。これからも事故を防止して安心・安全に暮らすことが大切」とあいさつ。式典では町に北海道知事感謝状、同協議会に北海道交通安全推進委員会表彰が贈られました。参加者を代表して標茶中学校生徒会長の三栖流星君が交通安全宣言を読み上げ、今後も交通事故の無い明るく安全で安心なまちづくりに向けての決意を新たにしました。



1/1

初日の出に今年一年の幸せを祈る

標茶町観光協会主催の2012年「初日の出を見る会」が多和展望台特設会場で行われ、初日の出を迎える大勢の町民や観光客で賑わいました。穏やかな天候の中、地平線が徐々に赤く染まり、間もなくご来光が差し込むと、会場に詰め掛けた人々から拍手と歓声上がり、新年の輝かしい門出を祝いました。